

(学校運営協議会・報告様式)

令和8年度 第2回 庄内小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和8年6月16日 (火) 9:25 ~ 11:10

2 場 所 庄内小学校図書室、各教室

3 あいさつ(学校長、委員長)

(学校長)

いつもありがとうございます。今日は授業を見ていただく。今後の取組に反映させるべく忌憚のないご意見を。

(委員長)

先日は「クマ」の見間違い情報もあった。対応ありがとうございます。

4 授業参観(2 限目)

1 年:算数 2 年:国語 3 年:算数 4 年:理科 5 年:国語 6 年:算数

5 協議内容

意見交流

○ICT 活用について

- ・授業が以前とは大きく変わっているが、先生方はいろいろな機器を活用し取り組まれている。
- ・プロジェクターについて、若干見づらさを感じるが何か工夫しているか。
→プロジェクター周辺が明るいと画面が見づらくなるので、黒板灯や教室照明の黒板側を消したり、カーテンを引いたりして工夫している。あと、細かな文字等は自分の一人1台端末(Chromebook)で確認できる。前に投影するものは先生方が意図をもって投影されている。
- ・5年生は、一人1台端末を使って子どもたちがお互いの進捗状況を確認しあうことが可能になっていた。また、子どもたちも目的意識をもって授業に参加していた。
→ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けチャレンジングな取組をしてもらっている。

○指導について

- ・担任以外の先生方も教室に入り、一人ひとりに手厚く指導されている様子が見られ、

良いと感じた。

- ・6年生の授業内容（分数）は難しいと感じたが、こどもたちと先生が上手にコミュニケーションをとりながら授業が展開されていて、わかりやすいのではと感じた。
- ・1年生は、活発な雰囲気の中で授業が展開されていたが全体的には落ち着いた雰囲気だと感じた。また、先生がこどもたちの意見を上手に聞きながら、参加型の授業が展開されていたと感じた。

○授業全般について

- ・4年生はテストをしていたと思うが、テストの際は、机を教室全体に広げ、壁のほうを向いて受けるのか。
 - 担当する教員によって若干差異はあるが、テストの際は、こどもたちの集中しやすさやカンニング防止等の理由で机の間隔をあけている。
 - 本校は児童数が少ないが、1クラス30名規模の学校でも同様なことは行われている。

○校長より

- ・義務教育9年間を通して育てたいこどもの姿は「自律した学習者」。そのため、教員の指導も以前より大きく変化し、「知識を教え込む」というスタイルから、こどもたちの学びを支援する「ファシリテーター」としての力量が求められている。そのため先生方も学び続けている。

6 アドバイザーより

世の中が急速に変化していく中、こどもたちの求められる力は「自律した学習者」。そのために、アナログとデジタルも使い分けながら授業づくりをしていく必要がある。また、先生の授業力が問われる。「個別最適な学び」についても、こどもたちが自分の好きなように学習を進め、先生がこどもの状況をつかめていない状態では、1時間の意味が漠然としてしまう。そこで問われる力が、こどもたちを見取る力。一人ひとりの進捗状況を見取り適切な指導を行うことが求められている。